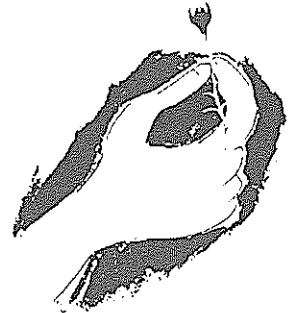


待っています あなたの愛

腎臓提供登録を



高知県腎臓バンク協会

愛と健康の贈り物——献腎に

ご協力下さい。

血液中の老廃物を取り除く腎臓。その機能がうまく働かなくなる腎不全症は、かつては不治の疾患とされていましたが、人工透析が開発され、また腎臓移植によって社会復帰も可能になりました。

全国で一年間に六百件の腎臓移植が行われていますが、ほとんどは肉親からの生体腎移植。死体腎移植は二〇割にすぎません。欧米では約八〇割が死体腎移植です。

死後、腎不全症で苦しむ人に腎臓を提供する腎バンクの登録者は全国で二十数万人ですが、まだまだ少なく、移植希望者の一部がフィリピンなどに腎臓提

供を求める動きも見られ、人道国際問題にも発展しかねない状況です。

高知県では昭和六十三年に高知県腎臓バンク協会が設立され、献腎についての普及啓発活動等に努めています。登録者は四百四十人と、全国的にみても少ない数字です。

一方、本県で人工透析を受けている患者は七百五十人で、過去一年間に百十人が新たに透析を始めました。腎臓移植はこれまでに五十例ありますが、すべて肉親からの生体腎移植。多くの方があなたからの「愛の贈り物」を待っています。

詳しいことは、高知県腎臓バンク協会（高知市鷹匠町二丁目一―三六 助高知県救急医療情報センター内 ☎026200）までお問い合わせ下さい。

同和教育シリーズ—— 部落はいつ、だれが、何のために つくったのでしょうか④

つくったのでしょうか④

徳川幕藩体制の下では、農民から過酷な年貢を搾取すること

配の憲法ともいふべき「慶安御触書」には「百姓は分別もなく末の考もなきもの候故秋になり候らば、米・雑穀をむざと妻子にもくわせ候。いつも正月二月三月時分の心をもち食物を大切につかまると候につぎ雑

幕府が最も恐れたことは、二千万八百万人に近い民衆、特に経済を支える農民が団結し、反抗することでした。そのため、民衆をばらばらにし、お互いを憎し

殺専一に候間、麦粟稗、菜、大根そのほか何にても雑穀を作り、米を多く喰いつぶさぬ様にする

分裂支配という方法をとりました。これが士農工商という身分制度です。

儀はもつたいなき事に候・・(略)と書かれています。

身分は生まれたときから決まっています。変えることはできませんでした。また、農工商の身分をさらに細かく分け、武士に倣って上下、主従の関係を重

農民は「御百姓様であり、本の宝」であると言いつながら、本音は「生きぬよう、死なぬよう」治めるといふことでした。

に倣って上下、主従の関係を重んじることや、服従と奉仕の考えを植え付けるなどして封建的な社会を作り上げていきました。

農民は、重い年貢を納めるために、食物を作っているにもかかわらず、不作の年には飢え死にしたり、子供を殺したり、娘を売りとばしたりし、土地や家を捨てて他国をさまよい、人に食べ物を請う者も数多く出てきました。

それでは、当時の人口の約八四割を占め、武士に次ぐ身分とされていた農民の生活はどうだったのでしょうか。一六四九

また、幕府は、大名の経済力を弱め幕府に反抗できないようにすること、幕府は金を出さず

に倣って上下、主従の関係を重んじることや、服従と奉仕の考えを植え付けるなどして封建的な社会を作り上げていきました。

市では同和教育推進講座などの学習会を開催していますが、参加できない方もたくさんいます。教育委員会社会教育課では

そのような方にも同和教育を広く認識していただくため、毎月十五日号にこのシリーズを掲載

してあります。家庭や職場、地域における同和教育の資料として

お役立て下さい。

お役立て下さい。